

米沢市報道資料

山形県地域史研究協議会第 51 回総会・研究大会
(米沢大会)の開催について

令和 8年 6月 23日
文化課文化財担当

電話 22-5111(内線 7550)

山形県地域史研究協議会は、昭和 40 年代後半に山形県史や市町村史編さんの取り組みが進む中、県史・市町村史編さん事務局、民間研究団体などの相互交流を目指し、昭和 50 年 4 月に発足しました(事務局:山形県総務部高等教育政策・学事文書課県史資料室内)。昨年天童市で第 50 回記念大会が開催され、今年は伝国の杜を会場に第 51 回大会(米沢大会)が開催されます。

総会終了後の講演会と研究発表会は、一般の方々も参加できますので、御案内いたします。

記

1 日 時 令和 8 年 7 月 5 日(日) 10 時 00 ～ 16 時 40 分

2 場 所 伝国の杜大会議室

3 概 要 講演会 11:00 ～ 12:30

講 師 ^{あらみや まなぶ}新宮 学 氏(山形大学名誉教授)

演 題「上杉景勝に贈られた明 朝冠服と^{みんちようかんぷく}筭付^{さつぷ}は何故残されたのか

—近代以降の郷土史家の役割を考える—

研究発表会 13:30 ～ 16:40

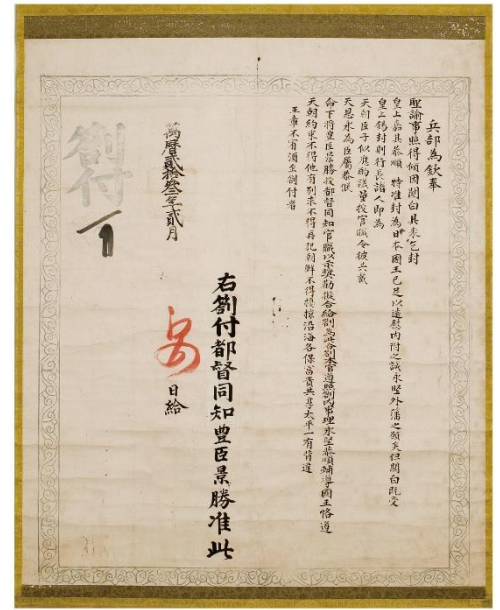
米沢市を中心に 9 本の研究発表

※詳しくは添付のチラシを御参照ください

4 参加費 資料代として 1,000 円

山形県地域史研究協議会 第51回総会・研究大会

米沢大会 講演・分科会の御案内



明朝冠服と笏付（上杉神社蔵）

○日 時 令和8年7月5日(日) 午前10時～午後4時40分

○会 場 伝国の杜（米沢市丸の内一丁目2番1号 Tel.0238-26-8000）

*お車で越しの方は、会場駐車場をご利用ください(満車の場合はおまつり広場駐車場をご利用ください)

○内 容

【総 会】 午前10時～10時55分(会員のみ)

【講 演】 午前11時～12時30分

■演題 上杉景勝に贈られた明朝冠服と笏付は何故残されたのか
—近代以降の郷土史家の役割を考える—

■講師 新宮 学 氏(山形大学 名誉教授)

【分科会】 午後1時30分～4時40分 ≪資料代1,000円(講演も含む)≫

■第1分科会 (司会・運営担当:石井浩幸、伊藤清郎)

発表者・テーマ 鈴木 大輔 氏 日向洞窟遺跡西地区の年代的位置づけと石器群の構造
佐藤 高史 氏 成島八幡宮本殿の神像について
池野 理 氏 板碑造立から見る置賜の中世

■第2分科会 (司会・運営担当:渡辺 信、山内 励)

発表者・テーマ 渡部 眞治 氏 北信濃出身武士木嶋氏と小国
佐藤 正三郎 氏 「上杉文書」と山形県内の史料情報
石黒 志保 氏 近代の郷土史家と図書館設置の意義について—伊佐早謙を中心として—

■第3分科会 (司会・運営担当:阿部博行、鈴木 勲)

発表者・テーマ 高橋 敬一 氏 米沢古文書研究会の60年
金子 利貞 氏 萬世大路保存会の活動について
布施 賢治 氏 昭和20年代における山形ハッピーミシン野球部の活動について
—原田製作所社長・原田好太郎の理念と昭和25年の都市対抗野球出場を中心に—

≪問合せ≫ 米沢市観光文化スポーツ部文化課(米沢市金池三丁目1番14号)

電話:0238-22-5111(内線 7553・7554) E-mail:bunkazai-t@city.yonezawa.lg.jp